

【様式2】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立神埼高等学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和6年2月22日(木)

(2) 資料(評価の参考とした資料)

令和5年度神埼高等学校評価計画、学校評価アンケート結果、
令和5年度神埼高等学校評価(案)、神埼高等学校の取組状況

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・目標は概ね妥当である。
- ・どの項目についても概ね達成されている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・学校の取組は適切である。
- ・自己評価結果については妥当である。

③改善方策の適切さ

- ・改善方策については概ね妥当である。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・目標は概ね妥当である。
- ・どの項目についても概ね達成されている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・学校の取組は適切である。
- ・自己評価結果は概ね妥当である。

③改善方策の適切さ

- ・改善方策については概ね妥当である。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・学校評価アンケートの項目によっては、生徒と保護者の評価に差が出ることは当然と考えられる部分はある。保護者の期待度により評価に開きが出る。評価についてはその部分を加味してよい。

- ・学校評価アンケート結果から、「授業を理解できている」と多くの生徒は回答しているが、理解度と定着度は異なる。今後も授業を通して生徒のやる気レベルの向上を図り、生徒自身ができるようになったことや自信を持つことができるようになったことを具体的に記述できるように、学校評価アンケートの項目を追加してはどうか。
- ・評価項目「希望進路に対応できる確かな学力の育成」について、中間評価と比較して最終評価で評価が好転している。実施結果の標記についてはその根拠を数値等を用いてさらに明確にする必要がある。
- ・生徒のアンケート結果から授業中の教え合いへの意欲が感じられる。今後も、生徒が授業以外の時間でも自主的な教え合いをする場面が増えていくことを期待する。
- ・総合的な探究の時間での活動は、学校のある神埼という地域を知り、地域とつながる取組である。各生徒が地元のことを知るきっかけになればよい。習慣や捉え方などが多様であることを知ることは将来的に役に立つと思われる。
- ・校則については、生徒自身が規則を守ることに受け身の姿勢ではなく、堂々と意見が出せるようになればよい。
- ・総合的な探究の時間が学校行事で削られることなく確保できるように、管理職でしっかりと見守りをしてほしい。
- ・保健室利用や図書館貸出などは、他校のデータなどと比較ができればもっとわかりやすい。
- ・部活動の休養日が少ないという意見もあるが、競技により大会の時期や日程が異なり、事情も様々である。実態として土・日曜にとることが難しい場合がある。
- ・部活動再編や部活動の地域移行についての要望もあるが、指導者の確保をはじめ課題が多い。